

東濃地科学センターの状況

超深地層研究所計画

〔瑞浪超深地層研究所〕

- ・研究坑道掘削工事関係
 - 主立坑の掘削作業（10/17 8:00 現在 300.2m）
 - 換気立坑の掘削作業（10/17 8:00 現在 280.5m）
 - 深度300mの水平坑道（予備ステージ）の掘削作業 8/20～
（10/17 8:00 現在 主立坑側から 26.4m）
 - 深度300mの水平坑道（調査研究用の水平坑道）の掘削作業 9/3～
（10/17 8:00 現在 主立坑側から 10.4m）
- ・深度100m及び200mの水平坑道（予備ステージ）における水平ボーリング孔を用いた地下水観測を実施中
- ・深度200mのボーリング横坑及び立坑からのボーリング孔に設置した水圧観測装置、先行変位計及び歪計を用いた長期観測を実施中
- ・傾斜計による岩盤変位計測を継続
- ・表層水理定数観測を継続
- ・長期流量観測を継続（狭間川3地点）
- ・長期水位観測を継続（研究所周辺井戸10地点）
- ・研究坑道掘削土に関する環境管理測定を継続
- ・既存ボーリング孔における長期地下水観測を継続（MIZ-1・MSB-1～4・05ME06号孔）
- ・アクロス技術の工学技術への応用として、弾性波/電磁波送信及び観測を実施中

〔正馬様用地〕

- ・既存ボーリング孔における長期地下水観測を継続（AN-1,3・MIU-1～4号孔）
- ・表層水理定数観測を継続（正馬様用地内3地点及び97MS-01～03・98MS-04・99MS-05・AI-7,10号孔）

広域地下水流動研究

- ・既存ボーリング孔における長期地下水観測を継続（DH-2,5,8,10～13,15号孔）
- ・河川流量観測を継続（日吉川下流域、柄石川流域）

瑞浪超深地層研究所からの排水

- ・排水処理設備：放流を実施中

瑞浪超深地層研究所における施設供用

- ・東濃地震科学研究所による研究坑道内における傾斜計を用いた岩盤変位計測等を継続

浪超深地層研究所研究坑道掘削工事の状況
(平成 20 年 10 月 17 日現在)

立坑掘削深度	主立坑	換気立坑
	300.2m	280.5m
10月24日までの予定	300.2m	283.4m

深度 300m 予備ステージ掘削進捗	主立坑側から	換気立坑側から
	26.4m 避難所 6.0m	-
10月24日までの予定	26.4m 避難所 6.0m	-

深度 300m 調査研究用坑道掘削進捗	主立坑側から	換気立坑側から (ボーリング横坑)
	10.4m 計測横坑 10.0m	-
10月24日までの予定	10.4m 計測横坑 10.0m	-

その他の作業	主立坑	換気立坑
	調査研究用坑道の先行ボーリング 58.7m掘削	-
10月24日までの予定	撤収作業	-

